

平成27年度の各会計予算を審査する予算特別委員会(鎌田幸也委員長、近村晴男副委員長・3月11日~13日)での質疑(Q)と答弁(A)のいくつかを要約して紹介します。

質疑あれこれ

行財政改革の視点も必要では

Q 平成27年度は財政調整基金を5億円取り崩し、楽な財政運営ではない。市民サービス向上を考えると、行財政改革の視点も必要ではないか。

A しっかりとした財政計画を立てていきたい。行財政改革は、できるのであれば行っていくが、人件費などの義務的経費の削減は難しい。削減するとすれば投資的経費だが、市民からいただいた税金は使うべきものは使っていく。

機関と一緒に周知していく。

振興センターでの証明書等の発行は

Q 平成28年度から、コンビニエンスストアで各種証明書の発行を予定しているが、振興センターでも同様に証明書等の発行サービスは受けられるか。

A 平成28年4月1日からのコンビニエンスストアでの証明書の発行サービス開始に伴い、振興センターでの証明書発行の廃止を検討しているが、コンビニエンスストアのない地区については、宅配による証明書発行を検討していく。

マイナンバー制度の周知方法

Q 本市におけるマイナンバー制度の周知方法について伺う。

A ホームページを昨年9月に開設、本年1月には事業者向けページを追加した。今後、広報はなまきで4月、7月、9月の3回特集を予定している。また、「えふえむ花巻」での広報を行うなど、関連

農家収入の落ち込みと課税について

Q 課税に当たって、農家収入の落ち込みをどの程度と試算したか。

A 約5億9千300万円の所得減、26年度決算見込み対比では35.6%減と見込んでいる。

工業団地拡充整備の今後の予定は

Q 企業誘致を行う際に必要な工業用地の不足が見据え、工業団地の拡充に向けた整備計画が進められているが、造成までの予定は。

A 平成27年度に実施設計、用地買収や各種手法に2年程度かかると見込んでいる。造成は、平成29年の終わりから30年ころの着手と見込んでいる。

農産物カタログなどで県外に発信を

Q 県外の親戚や知人用に花巻産の農産物のギフトカタログを作成する取り組みをどうするか。

A 販売方法について産地直売所や生産者が、そういったカタログギフト

道路維持改良の予算

Q 道路維持、新設改良の目標値が平成26年度より低下した要因は何か。

A 太田橋や豊沢橋等の大規模工事を抱えており、生活道路整備になかなか手が回らない状況となっている。

消防団員の確保に向けた対策は

Q 消防団員の入団促進策と必要定員は。

A 広報、コミュニティFMやホームページを活用した消防団活動紹介、火災予防運動期間中の活動等で引き続きPRしていく。定員は、旧市町の定員合算数だが、現在、消防団組織見直し委員会で検討している。

はなまき授業サポーター事業の成果は

Q 平成27年度から中学生対象のサポーター事業が実施されるが、これまで実施されていた小学生対象のはなまき授業サポーターの成果は。

A 学習定着度状況調査で、平成22年度の市内小学校の平均正答率が66%だったが、平成26年度は73%と成果が認められている。中学校では、平成22年度の59.6%から向上が認められないことから、中学生にもサポーターを配置することとした。

自校方式による学校給食の評価は

Q 自校方式による学校給食の実施校は何か。また、同方式について、どう評価しているか。

A 4校で自校方式となっている。メリットは児童生徒と調理士の触れ合いがあること。デメリットは、安心、安全な給食を持続的に提供できるか慎重に対応しなければならぬこと、学校職員の負担が大きいことである。

就学援助の認定基準

Q 就学援助の認定基準はどう変わるか。また、申請時に学校や民生児童委員の所見を求めることについてはどうか。

A 現在の就学援助認定基準は生活保護認定基準所得額の1.2倍以下であるが、平成27年度からは1.3倍以下へと引き上げる。また、学校や民生児童委員の所見は必要ないこととする。



建設中の(仮称)岩手中部広域クリーンセンター(北上市)

労働関係実態調査とその分析は

Q 毎年の労働関係実態調査をどのように生かし、また分析しているか。

A 約600社の市内事業者を対象に、情勢に合わせたアンケート調査を実施している。調査結果については、就労支援事業の中のジョブカフェ事業で就職相談の統計データとして活用している。

市有財産の売却促進の状況は

Q 市有財産の売却可能物件について、個所数と面積はどのくらいか。また、売却額の引き下げを検討する物件はあるか。

A 売却可能資産は、平成25年度で、面積は14万5千平方メートルほどある。平成26年度の公売の場所は、浅沢、双葉町、城内、石鳥谷有線跡地、物見山、東和町土沢の旧病院宿舎等がある。価格の引き下げは、周辺の土地への影響もあり控えている。

ひとり暮らし高齢者緊急通報装置は

Q ひとり暮らし高齢者緊急通報装置の設置の状況は。

A 緊急通報装置は、157台設置している。申請がある都度、アセスメント表により設置の適否を検討している。

ごみ減量に向けた削減目標の設定は

Q ごみの排出割合を岩手中部広域行政組合構成市町の人口割合に合わせていくなど削減目標を設定し、市民に呼びかける考えはないか。

A 人口割合から見ると排出割合が多くなっていることは認識しているが、市民の協力がなければ、ごみの減量化は難しい。平成27年度に新しい花巻市一般廃棄物処理計画を



多くの入場者で賑わったはなまき産業大博覧会(平成26年11月)



平成27年度花巻市消防団辞令交付式